

平成29年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT29132 プログラム名 <童詩・童謡>で味わう韓国の歴史と文化 ～韓国文化体験講座～



開催日：平成29年7月29日(土)

実施機関：東京純心大学

(実施場所) (東京純心大学図書館)

実施代表者：大竹聖美

(所属・職名) (現代文化学部・教授)

受講生：小学生 13名

関連URL:

【実施内容】

■工夫した点■

「近くて遠い国」ともいわれる韓国の文化について、次世代を担う子どもたちにしなやかな感性で隣国の文化に出会い、感動共感してもらうために以下の点に留意した。

- ①韓服(チマ・チョゴリ)を着た学生が韓国の文化を分かりやすく説明する。
- ②韓国文化理解教材(絵本・伝統工芸品・服飾文化財)を展示し、多文化理解の助けとする。
- ③韓国料理のランチタイムを設け、留学生を交えて食事をすることで文化理解と交流を深める。
- ④伝統工芸(韓紙工芸)の作品作りと韓服の試着を通して、韓国文化を体験的に学習してもらう。

■当日のスケジュール■

- 10:30-11:00 受付(東京純心大学事務局前集合)
- 11:00-11:15 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費と研究に関するお話)
- 11:15-11:35 ミニ・レクチャーA:韓国の<童詩・童謡>とその魅力(講師:大竹聖美)
- 11:35-11:45 原語で聞く韓国の詩の絵本(『故郷の春』『オッパセンガク(兄さん想い)』)
- 11:45-12:00 討論:詩が書かれた時代背景も一緒に考えてみよう
- 12:00-12:10 ミニ・レクチャーB:韓国の韓紙工芸(外部講師:橋詰恵子、補助:学生)
- 12:10-12:30 実習: ①韓紙工芸体験(伝統文様入りの小物を作ろう(前半))
- 12:30-12:35 移動・休憩
- 12:35-13:15 韓国食文化体験&留学生との交流会:韓国料理ランチタイム(学食)(補助:学生)
- 13:15-13:30 ミニ・レクチャーC:韓服(チマ・チョゴリ)ってどう着るの?(講師:大竹聖美)
- 13:30-14:40 実習: ②韓紙工芸体験(ニスを塗ろう) ③韓服(チマ・チョゴリ)を着てみよう (補助:学生)
- 14:40-14:50 修了式(アンケート記入、「日韓文化交流子ども大使」授与)
- 14:50-15:00 撮影・解散

## ■実施の様子■

○図書館にて「韓国の絵本と文化」を展示



○韓国の童謡と歴史文化についてミニ・レクチャー



○韓紙工芸にチャレンジ



○伝統的な子どもの靴を型どった置物を作ります



○韓国料理ビビンバのランチ



○チマチョゴリ どれを着ようかな



## ■事務局との協力体制 ■

会計管理と広報、備品準備、写真撮影など、講座内容以外の管理運営はすべて事務局で行い、当日の会場設営及びプログラム進行は実施代表者及びアルバイト学生が行った。

## ■広報体制 ■

学術振興会のHPを通して一般に広報するとともに、八王子市教育委員会の後援を申請し、市内の小中学校に対象学年全生徒分のチラシを一括配布した。各小中学校教室にてチラシが配布され、生徒が家庭にチラシを持ち帰ることで保護者へのイベント告知ができた。そのほか「大学コンソーシアム八王子」による夏休みイベントの情報誌にも掲載し周知を図った。

## ■安全体制 ■

4～5名ずつの小グループに分け、学生の補助を付け、実施代表者や協力者がそれぞれのグループを見て回り、十分な指導に当たった。なお、参加者には大学で加入している保険が適用されている。

■今後の発展性と課題■

韓国料理のランチタイム、韓紙工芸体験、チマ・チョゴリの試着など、各場面で留学生との交流を交えながら楽しく文化体験ができた。ただ、やはりチマ・チョゴリの体験試着の場面で、参加者の体格に幅があり、試着用チマ・チョゴリの不足と、サイズバリエーションの不備が気になった。また、夏場の実施で汗をかくため、クリーニングなどのメンテナンスも必要である。

【実施協力者】      9   名

【事務担当者】 丸山 幸子 （地域共創センター）